

経営比較分析表（令和4年度決算）

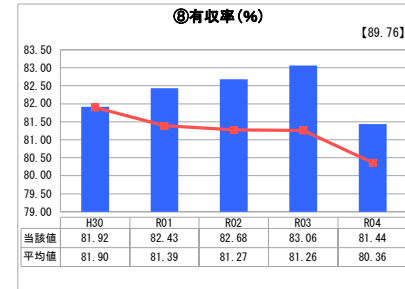
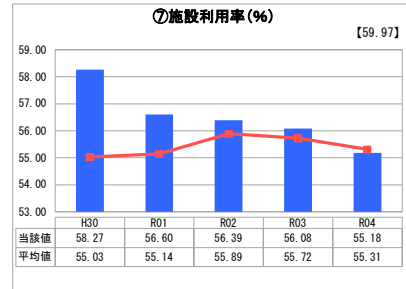
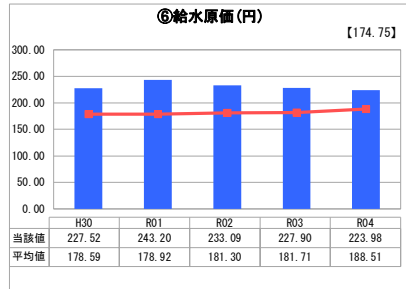
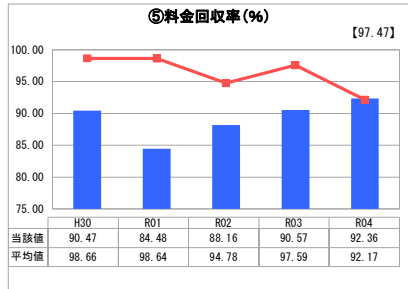
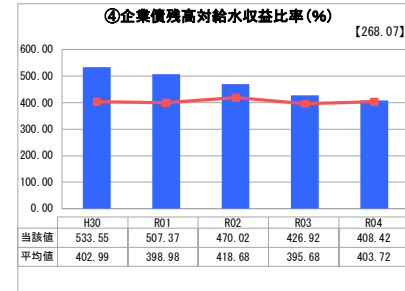
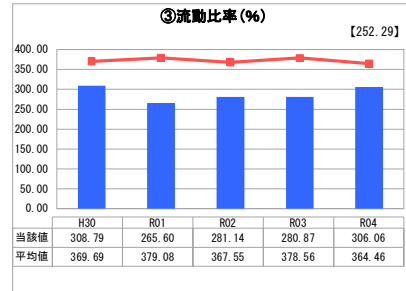
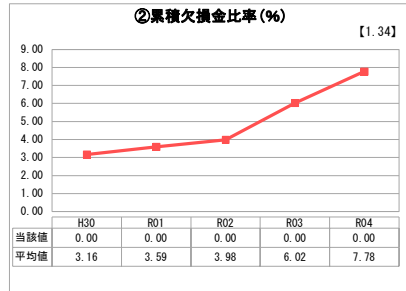
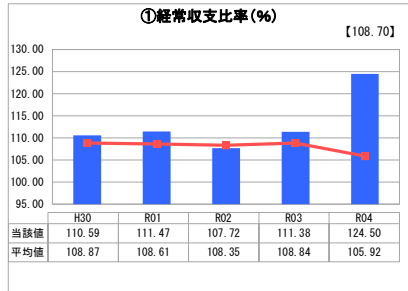
宮崎県 串間市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.40	92.38	3,845	

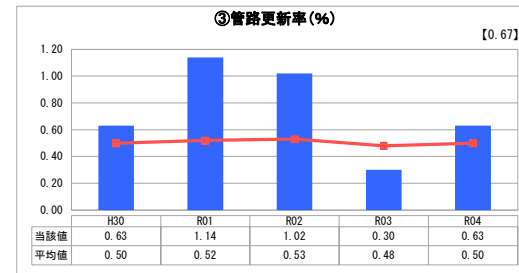
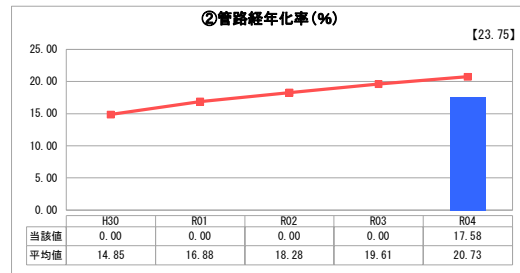
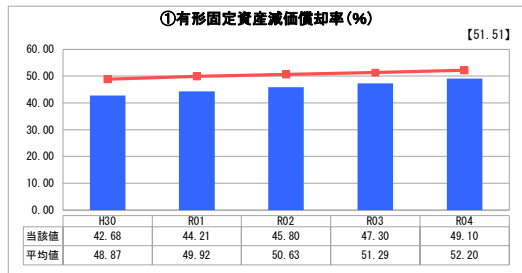
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,990	294.92	57.61
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
15,561	44.72	347.97

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」については、平成30年度から統合した簡易水道の収支不足額を一般会計補助金で補填しているため、100%を超えています。令和4年度は道路改良に伴う工事等の影響で一般会計補助金が増額したことから、前年度と比較し上昇しています。

「②累積欠損比率」については、引き続き0となるように努めます。

「③流動比率」については、基準である100%を超え306.06%と支払能力そのものに問題は生じていませんが、類似団体に比べると低い状態にあります。改善を図るため収益の確保、費用の抑制に努めます。

「④企業債残高対給水収益比率」「⑤料金回収率」「⑥給水原価」については、簡易水道の統合により整備費・維持費が多額になり悪化していますが、前年度と比較し改善しています。

「⑦施設利用率」「⑧有収率」については、類似団体と同程度の水準を維持しています。引き続き漏水調査などを行い有収率を高め、効率的な施設運用を進めて参ります。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」については、高度浄水施設整備事業などにより取得した比較的新しい施設があるため、類似団体と比較すると低い状況になっています。

「②管路経年化率」については、令和4年度より法定耐用年数を経過した管路延長の把握を行っており、類似団体と比較すると低い状況になっています。

「③管路更新率」については、類似団体と比較すると高い状況になっています。道路改良工事に合わせた布設替えを行うことで、費用の抑制を図っています。

今後も漏水が多発する箇所を優先しながら、計画的な更新を行い、老朽化対策を進めていく必要があります。

全体総括

年々人口減少に伴う給水人口の減少により、有収水量の減少に歯止めがかからず、給水収益は減少する一方です。

施設の老朽化についても、今後の更新時期に備えるために、計画的に更新を行っていく必要があります。

人口減少を見据えた施設規模の見直し(ダウンサイジング)など、新水道ビジョンに沿って事業を推進するとともに、費用の抑制に努め、経営改善を図ってまいります。併せて料金の見直しについても検討していく必要があります。